

人文研究総目次

1964年1月 (第27輯)

ロシア・ソビエトにおける中国文学研究……………	川上久寿	(1)
W. S. モーム作お菓子とビールに関する覚書……………	脇田勇	(25)
Language Testing に関する覚書……………	北市陽一	(53)
ドイツ文芸学方法論考V —19世紀歴史学派について(3)—……………	関徹雄	(67)
E. v. ロヒョーの啓蒙, 宗教および道徳観について —E. v. ロヒョーの「国民教育」論(その5)—……………	田中昭徳	(91)
動機理論の発達の再構成(Ⅱ)……………	馬場道夫	(111)
学校水泳の実態調査……………	杉山登	(129)
越人と『莊子』……………	広田二郎	1

1964年7月 (第28輯)

ベルヌーイ数の周辺……………	武隈良一	(1)
サミュエル・パトラーとダーウィン説(Ⅰ) —パトラーの機械観—……………	飛田茂雄	(23)
ディラン・トマス論 —その詩的想像力と「戦争」—……………	久納泰之	(49)
英語複合母音核音の解釈と表現の問題点……………	高嶋稔	(75)
ゴーリキィに関する覚え書 〈コロレンコとの交友をめぐるその4〉……………	松本忠司	(93)
『規範論』序説……………	一色忠良	(119)
現象と自由(一) —カント二元論と美の問題—……………	川村三千雄	1
イギリス革命における宗教的寛容の問題……………	浜林正夫	21

1965年1月 (第29輯)

W. S. モーム作「ドン・フェルランド」の教えるもの……………	脇田勇	(1)
ロシア・ソビエトにおける中国文学研究Ⅱ……………	川上久寿	(23)
ハインリヒ・ベル試論……………	中川勇治	(47)
学校水泳の現代化……………	杉山登	(71)
許六と『莊子』……………	広田二郎	1

1965年7月 (第30輯)

ディラン・トマス批評の断層……………	久納泰之(1)
サミュエル・バトラーとダーウィン説(Ⅱ) —「生活と習慣」について—……………	飛田茂雄(27)
バルメスにおけるナショナルリズム……………	一色忠良(51)
英語聴覚テストの検討 —R. Ladoの所説を中心として—……………	高嶋稔(77)
フリードリヒ・エーベルハルト・フォン・ロヒョーの 生涯・思想および業績について(その一)……………	田中昭徳(119)
消息欄……………	(143)

1966年1月 (第31輯)

魯迅初期の論文にかんするパズネーエワの所論……………	川上久寿(1)
W. S. モームの小説の歴史的概観 —その一 1897年より1914年まで—……………	脇田勇(25)
英語の単純形と進行形……………	北村正司(49)
動機づけの測度としてのGSRとタッピング速度……………	馬場道夫(73)
エスキモー語の音位転倒……………	宮岡伯人(97)
フリードリヒ・エーベルハルト・フォン・ロヒョーの 生涯・思想および業績について(その二)……………	田中昭徳(127)
支考と『荘子』 —『二十五箇条』の虚実論樹立まで—……………	広田二郎 1

1966年7月 (第32輯)

自由の問題 —バルメスの思想の一断面—……………	一色忠良(1)
ヘンリー・ミラーの受容の思想……………	飛田茂雄(25)
ゴーリキイの初期創作における語り手の形象について……………	松本忠司(49)
ヘルマン・ハインベルの歴史研究 —戦後の西ドイツと ヒストリスマスに関する覚書(1)—……………	阿部謹也(77)
英語の限定辞に関する一考察……………	高嶋稔(101)
フリードリヒ・エーベルハルト・フォン・ロヒョーの 生涯・思想および業績について(その三)……………	田中昭徳(119)

1967年1月 (第33輯)

整数論と計算機	武隈良一	(1)
魯迅の曲筆と暴露	川上久寿	(27)
KING LEAR における時間的継起について (1)	山本幸男	(55)
ムジールのベルリン修学時代	中川勇治	(75)
エスキモー語の二つの廃用接尾辞について	宮岡伯人	(99)
ハインベルの宗教改革について ——戦後の西ドイツと ヒストリスムスに関する覚書 (2)——	阿部謹也	(119)
フリードリヒ・エーベルハルト・ フォン・ロヒョー生涯・思想 および業績について (その四)	田中昭徳	(149)

1967年7月 (第34輯)

国際印度洋調査 (IOE) と SCOR-UNESCO 化学比較作業について	斎藤要	(1)
ロシア文学における知識人の問題	松本忠司	(29)
ラグビーにおける体力トレーニングの一方	藤江正	(75)
体力に関する調査研究 (その1)	杉山登正	(109)
Symbolic Reference in the Letter Poetry of W. B. Yeats	Richard A. Sterry	(139)
エヌ・ヴェ・ソーンツェワ著 『中国語の受動態』 (翻訳)	川上久寿	(155)
フリードリヒ・エーベルハルト・ フォン・ロヒョーの生涯、思想 および業績について (その5)	田中昭徳	(199)
藤原定家論覚え書	細谷直樹	1

1967年12月 (第35輯) 特別号

木曾栄作名誉教授記念号

木曾栄作教授への感謝	実方正雄	(1)
木曾栄作先生の人と業績	北村正司	(3)
「企業者」という人間像 ——その類型とリーダーシップ・パターン——	伊藤森右衛門	(13)
ディラン・トマスとウェイルズ	久納泰之	(25)

英語教育の問題点	脇田 勇 (41)
A Tentative Classification of Pronunciation Errors in English as a Foreign Language	Yoichi Kitaichi (55)
<i>The Winer's Tale</i> 論	
—Time, the Chorus の問題—	山本幸男 (83)
ジェイムズ・ジョイスの『亡命者』	永原和夫 (111)
「資本自由化」の視点	麻田四郎 1
文芸裁判と「猥褻文書」の概念(上)	飛田茂雄 15
木曾栄作名誉教授略歴および著作目録	(135)

1968年4月 (第36輯)

Brueckner 理論と変分法の関係について	原田 稔 (1)
近似日本語材料の直接再生実験	増山英太郎 (13)
整数論と計算機(Ⅱ)	武隈良一 (63)
『ローランの歌』における若干の類義語(続)	目黒士門 (79)
エヌ・ヴェ・ソーンツェワ著 『中国語の受動態』(翻訳)	川上久寿 (89)
ヴォルフガング・カイザー著 『近代小説の成立と危機』(翻訳)	中川勇治 1
文芸裁判と「猥褻文書」の概念(中)	飛田茂雄 56

1968年10月 (第37輯)

John Ford 人と作品 (1)	
—その習作時代(1606-1620)—	山本幸男 (1)
ジョイスの『肖像』に関する二章	永原和夫 (33)
フランス語における アスペクトとその構成因子について	目黒士門 (67)
近似日本語材料の直接再生実験 Ⅱ	
—計量心理学研究 その2—	増山英太郎 (97)
未開発体育問題に関して (1)	
—Obesity の実態と 体育指導問題を中心として—	杉山 登 (117)
体力に関する調査研究(その2)	杉山 登 (137)
文芸裁判と「猥褻文書」の概念(下)	飛田茂雄 1

1969年3月 (第38輯) 特別号

松尾正路名誉教授記念号

松尾正路名誉教授の退官を惜しむ……………	実方正雄 (1)
回顧……………	松尾正路 (3)
デカルト……………	武隈良一 (9)
晩年のエロシエンコ……………	川上久寿 (31)
ゴーリキイの家系について……………	松本忠司 (57)
William Somerset Maugham	
——英文学における作家としての位置について——	
……………	脇田勇 (99)
John Ford 人と作品 (2)	
——Thomas Dekker との出会い——……………	
山本幸男 (119)	
アメリカ英語における北部方言の特徴について……………	武本昌三 (153)
フランス文法における「同格」の概念……………	目黒士門 (175)
「毎月抄」私注……………	細谷直樹 1
松尾正路名誉教授略歴および著作目録……………	(203)

1969年10月 (第39輯)

ソ連版画家にあてた魯迅の書簡……………	川上久寿 (1)
九十年代批評におけるゴーリキイ……………	松本忠司 (19)
スペクトル解析のための フォートラン・プログラム……………	増山英太郎 (41)
アメリカ英語における南部方言の特徴について……………	武本昌三 (49)
意味解釈の能力をめぐる……………	菅原光穂 (77)

1970年3月 (第40輯)

Somerset Maugham における旅……………	脇田勇 (1)
Audio-Lingual Approach の再吟味……………	北村正司 (17)
言語構造と意味	
——動詞 Have のいわゆるPassive of Experience をめぐって——……………	
菅原光穂 (35)	
構造言語学と成層文法……………	高嶋稔 (59)
Temporal Qualities in the Novels of William Styron ……………	
Mark Landa (73)	
初期新高独語期設定をめぐる 最近の動向について……………	
小野光代 (95)	

スキーにおける技術指導と体力育成
——特に初心者の指導内容と方法について——……………藤 江 正 (115)

1970年8月 (第41輯)

『ルーンをめぐりて』の世界と語り手の課題
(自伝的主人公の問題Ⅱ)……………松 本 忠 司 (1)

アメリカ英語における中部方言の特徴について……………武 本 昌 三 (19)

『ロランの歌』における「キリスト教的驚異」……………目 黒 士 門 (43)

言語構造と意味
——動詞のいわゆる *Passive of Experience* をめぐって——……………菅 原 光 穂 (59)

Candida における舞台と観客……………島 村 東 太 郎 (81)

英米文学研究における文体論の位置……………菊 池 昭 (101)

1971年3月 (第42輯)

魯迅と郁達夫……………川 上 久 寿 (1)

ラグビーにおけるインターバル・トレーニングの応用……………藤 江 正 (17)

Joyce と Vio (一)……………永 原 和 夫 (41)

1843年英国劇場法の内容……………島 村 東 太 郎 (77)

Light in August における現実描写……………菊 池 昭 (97)

1971年11月 (第43輯) 特別号

小樽商科大学創立60周年記念号

ルードヴィヒ・ナトルプの教育思想と
「プロイセン教育改革」(1809-1819)
におけるその業績について [その1]……………田 中 昭 徳 (1)

Rittergut の構造について……………阿 部 謹 也 (39)

ゼノンの逆説をめぐって I……………武 隈 良 一 (73)

人間と魚類の血清蛋白質に関する比較生化学的研究……………斎 藤 要 (91)

水泳プールに関する調査研究……………杉 山 登 (119)

ラグビー傷害とその問題点……………藤 江 正 (143)

陳紹禹(王朝)とその魯迅論……………川 上 久 寿 (165)

『ルーンをめぐりて』における《遍歴者》の形象と課題
(自伝的主人公の問題Ⅲ)……………松 本 忠 司 (183)

『荆刀の刃』に関する覚書……………脇 田 勇 (203)

『ダブリン市民』——麻痺の中心……………	永原和夫	(217)
黒人文学の統計的研究		
——Baldwin への一つのアプローチ		
(Wright, Faulkner との比較において) ……	菊池 昭	(249)
アメリカ英語方言概観——語いについて——	武本昌三	(271)
新高独文章語成立における都市と書き言葉	小野光代	(311)
Adverbiai Transportation ……	Mitsuho Sugawara	(347)
Henry Ford: An Adventure with the Peace		
Movement of 1915-1916 ……	Richard D. Aufdenkampe	(371)
『毎月抄』私注……………	細谷直樹	1

1972年8月 (第44輯)

露訳『野草』の注釈について……………	川上久寿	(1)
サマセット・モームの世界……………	脇田 募	(21)
スキー技術の推移……………	藤江 正	(39)
Emma, Polly, Gerty, Molly: Joyce's		
Women and the Progression of		
"Simplicity" ……	Dick Ward	(59)
英語聴覚能力の一傾向		
——L. L. における調査から——……………	根本 慎	(81)
徒然草の編集過程について……………	細谷直樹	1

1973年3月 (第45輯)

武隈良一名誉教授記念号

武隈教授の退官を惜しむ……………	実方正雄	(1)
偶然について……………	武隈良一	(3)
魯迅の訳業に対するベルジスグの批判……………	川上久寿	(19)
Faulkner 文学における愛と死の意味(1) ……	菊池 昭	(31)
現代生活と身体運動……………	藤江 正	(49)
Reading の指導法に関する若干の問題点について ……	武本昌三	(71)
"Ackermann aus Böhmen" における		
方言と文章語の問題について……………	小野光代	(87)
Questions on Fodor's Three Reasons for Not		
Deriving Kill from Cause to Die ……	菅原光穂	(109)
武隈良一名誉教授略歴・著作目録……………		(125)

1973年9月 (第46輯)

- モダニズムに関する覚書……………永原和夫(1)
Faulkner 文学における愛と死の意味(Ⅱ)……………菊池昭(35)
Kill ⇐ Cause to die を支える
Syntactic Evidence は何か……………菅原光穂(49)

1974年3月 (第47輯)

- Of Human Bondage* 試論……………脇田勇(1)
スペイン語のいわゆる非人称
および受動の *se* ……………寺崎英樹(17)
“Borrow'd Robes” and “Naked Frailties”;
An Essay on the Theme and Dramatic
Structure in *Macbeth* Viewed
Mainly through Imagery ……………君羅久則(35)
わが国近代商業教育制度の成立過程(その1)……………田中昭徳(1)

1974年9月 (第48輯)

- 劇作家ゴーリキイの出發……………松本忠司(1)
中国の“文化革命”後における
魯迅作品の運命……………ア・エヌ・チェラホヴツェフ(25)
(川上久壽訳)
動詞の自・他の対立に関する一考察(1)
——意味的特徴の変化を中心として——……………高嶋稔(49)
産卵溯上期サケ (*Oncorhynchus Keta*) の
体カロチノイド色素に関する生化学的
研究Ⅱ——産卵溯上期の表皮カロチノ
イドの挙動……………北原直・斎藤要(69)

1975年3月 (第49輯)

- ラグビーのゲーム分析……………藤江正(1)
The Nature of Thomas Sutpens
Tragedy in *Absalom, Absalom* ……………菊池昭(27)
Oracular Nature:
Arnold's Romantic Quest ……………Jon Barry SANDERS(43)
Of Human Bondage 試論—Ⅱ……………脇田勇(59)
ペーベルのはじめの婦人論(1)……………倉田稔(75)

完了過去は完了的な過去

——スペイン語の完了過去と不定過去——……………寺 崎 英 樹 (87)

1975年10月 (第50輯)

- ソ連における現代漢語「是」の研究……………川 上 久 寿 (1)
戯曲『小市民』における《葛藤》について……………松 本 忠 司 (19)
英語教育改善のための基本問題
——誰が、何を、何故教えるのか——……………武 本 昌 三 (38)
動詞の自・他の対立に関する一考察 (2)
——意味的特徴の変化を中心として——……………高 嶋 稔 (63)
産卵溯上期サケ (*Oncorhynchus keta*) の
体カロチノイド色素に関する生化学的
研究Ⅲ——産卵溯上期の精巣に於ける
アスタキサントンの酵素的分解作用……………北原 直・斎藤 要 (81)

Eduard Bernsteins

Literarisches Werk (1) ……………倉 田 稔 (93)

Humanity Divine Incomprehensible:

The Cosmology of *The Four Zoas* ……………Jon Barry SANDERS (99)

1976年3月 (第51輯)

- 「是」かんする若干の疑問……………川 上 久 寿 (1)
Of Human Bondage 試論——Ⅲ——……………脇 田 勇 (14)
戯曲『小市民』における
ドラマトウルギーの若干の問題……………松 本 忠 司 (29)
動詞の自・他の対立に関する一考察 (3)
——意味的特徴の変化を中心として——……………高 嶋 稔 (54)
『金融資本論の成立』補遺……………倉 田 稔 (72)
Confessing through the '60's
——The "Non-Fiction Novel"
in America ……………Jon Barry Sanders (80)
「春の夜の夢の浮橋」の詠をめぐって……………細 谷 直 樹 1

1976年12月 (第52輯) 特 別 号

- 川村三千雄名誉教授の略歴と著作目録…………… (1)
北村正司名誉教授の略歴と著作目録…………… (3)

川村三千雄先生： 「カントの宗教哲学」への沈潜と思索……………	伊藤 森右衛門（ 7 ）
川村先生の御退官を惜んで……………	武 隈 良 一（ 9 ）
哲学と私……………	川 村 三 千 雄（ 12 ）
北村正司先生：「英語教育」45年の歩み……………	伊藤 森右衛門（ 16 ）
北村正司教授について……………	木 曾 栄 作（ 18 ）
回 想……………	北 村 正 司（ 21 ）
ソ連における瞿秋白（→）……………	川 上 久 寿（ 26 ）
『どん底』についての走りがきの覚書……………	松 本 忠 司（ 43 ）
<i>Of Human Bondage</i> 試論—IV—……………	脇 田 勇（ 63 ）
『ユリシーズ』における スティエヴン・ディーダラス……………	永 原 和 夫（ 79 ）
“Best Befits the Dark”; A World of Tragic Irony in <i>Romeo and Juliet</i> ……………	Hisanori Kimira（ 97 ）
イギリス英語方言概観……………	武 本 昌 三（ 117 ）
動詞の自・他の対立に関する一考察（4完） ——意味的特徴の変化を中心として——……………	高 嶋 稔（ 151 ）
スペイン語の 非人称再帰文における“se”の機能……………	寺 崎 英 樹（ 167 ）
産卵溯上期サケ（ <i>Oncorhynchus keta</i> ）の 体カロチノイド色素に関する 生化学的研究—VI—……………	北原 直・斎藤 要（ 185 ）
わが国近代商業教育制度の成立過程（その2）……………	田 中 昭 徳 1

1977年3月（第35輯）

北海道における日本体育協会（J.A.S.A） 公認スポーツ指導員の活動状況の実態……………	杉 山 登（ 1 ）
The Eternal Mind Bounded: Psychological Organization in <i>The Four Zoas</i> ……………	Jon Barry SANDERS（ 35 ）
The Learner's Errors: Their Implications in Foreign-Language Instruction Patterns ……………	Reizo IWAKI（ 56 ）
言語能力の一部としての可変規則……………	根 本 慎（ 80 ）
フリードリヒ・エンゲルスの実像を求めて ——カール・マルクス『フランスに おける階級闘争』へのエンゲルスの 序文（1895年）……………	倉 田 稔（ 99 ）

分離派教徒の世界——R. O. Crumney,
The Old Believers and the World

of Antichrist によせて……………土 肥 恒 之 (125)

1977年12月 (第54輯)

Problems Concerning Horace Benbow's Incestuous Feelings
in the Manuscript and the Typescript of the Original

Version of *Sanctuary* (1) …………… Akira KIKUCHI (1)

Pitch Information Processing …………… Isao SHIMOMURA (27)

アメリカにおける日本語教育とその問題点……………武 本 昌 三 (45)

N. T. フェドレンコ：詩経研究——《詩経》と

その中国文学における地位……………川 上 久 寿 沢 (81)

『エレックとエニッド』私注 (1) ……………目 黒 士 門 (89)

ロシアの「後進性」について— G. Rozaman のロシア

都市発達史に関する近業をめぐって……………栗生沢 猛 夫 (107)

1978年3月 (第55輯)

Die Negative Partikel *ni* im

Gotischen …………… Yoshikazu MASUDA (1)

Notes on an Intensive Training Program in

Japanese as a Foreign Language …… Minoru TAKASHIMA (19)

Problems concerning Horace Benbow's Incestuous
Feelings in the Manuscript and the Typescript

of the Original Version of *Sanctuary* (2) … Akira KIKUCHI (39)

Of Human Bondage 試論-V- …………… 脇 田 勇 (49)

P. D. Huet の『小説起源論』……………中 川 勇 治 (62)

「領地管理令」研究への一視角

——18世紀初頭チェルカッスキイ公領の場合……………土 肥 恒 之 (75)

1978年12月 (第56輯) 特 別 号

川上久寿名誉教授記念号

川上久寿先生の足跡——魯迅への

傾倒30有余年……………伊藤 森右衛門 (1)

川上先生と魯迅……………松 尾 正 路 (3)

職人としてのわたくし……………川 上 久 寿 (7)

The Moon and Sixpence 覚書……………脇 田 勇 (12)

初稿から見た“Circe”挿話の制作方法と技法……………	永原和夫	(29)
<i>Sanctuary</i> における「レインコート」と 「水筒」のイメージラリーについて……………	菊池昭	(53)
Joyce and Jung and Molly Bloom……………	Jon Barry Sanders	(69)
日英語の相違とその自然的 社会的背景について……………	武本昌三	(84)
スペイン語の基本文型……………	寺崎英樹	(112)
星雲——アベ・レーナルと史的唯物論の起源……………	渡辺祐邦	(130)
ヒルファディング (1915—1918) —— ハプスブルグ帝国の第1次世界戦争時代……………	倉田稔	(150)
北海道におけるラグビーの実態調査……………	藤江正	(170)
川上久名著教授の略歴と著作目録……………		(201)

1979年3月 (第57輯)

周波数—電圧変換型ピッチ描記装置の 試作とその応用……………	下村五三夫	(1)
エリュアールの『途絶えざる詩』について ——ミュージズとの婚礼——……………	江口修	(9)
“Sirens”挿話の音楽……………	永原和夫	(29)
Error Evaluation in Foreign-Language Instruction……………	Reizo IWAKI	(50)
Sir Thomas Elyot's <i>The Governour</i> and the Theme of Friendship in <i>The Merchant of Venice</i> ……………	Hisanori KIMIRA	(70)
Verhältnis des gotischen Artikels zumgriechischen Artikel der Vorlage……………	Yoshikazu MASUDA	(83)
『儒林外史』——その読書人重視の立場——……………	阿部泰記	1

1979年7月 (第58輯)

Biting into Reality, the Heart of Oë's <i>Personal Matter</i> ……………	Jon Barry SANDERS	(1)
官岡伯人著『エスキモーの言語と文化』を読んで……………	高嶋稔	(27)
“Cyclops”挿話の Gigantism……………	永原和夫	(46)
ペーベルのはじめの婦人論 (2)……………	倉田稔	(64)
声道共振特性と声帯音源特性の複数話者間入れ換え 実験について……………	下村五三夫	(81)
『金瓶梅詞話』の叙述の混乱について……………	阿部泰記	1

1979年12月 (第59輯)

16・17世紀北ロシアの修道院と農民闘争……………	土肥恒之	(1)
ルードルフ・ヒルファディング伝初章……………	倉田稔	(29)
英語教育における比較文化論への展望(1)……………	武本昏三	(51)
能格性(Ergativity)に関する覚書(1)……………	高嶋稔	(89)
Corrective Treatment in Foreign Language		
Learning ……………	岩城禮三	(110)
メキシコ・スペイン語の完了について……………	寺崎英樹	(133)
W. S. モームの小説の歴史的概観—その二—		
—1915年から1938年まで—……………	脇田勇	(150)
手稿本によるオリジナル版 <i>Sanctuary</i> の研究(1)……………	菊池昭	(167)
The Diabolical Aspect of Stinks ……………	Jon Barry Sanders	(197)
湯頭祖の戯曲観 一情の重視……………	阿部泰記	1